

**Bayer HealthCare**

早く治ってほしいという  
願いを、チカラに。

未だ適切な治療法が確立していない疾病の数は  
2万以上とも言われています。  
さらに、治療は可能でも早期に診断が付きにくい、  
治療や検査が決して楽ではない、一般に理解されにくいなど、  
医療分野にはまだ満たされていないニーズがあります。  
私たちバイエル薬品は、「早く治ってほしい」という  
強い思いを原動力として、  
さまざまなニーズに応えていきます。  
よりよい暮らしのために、これからもずっと。

**Science For A Better Life**  
よりよい暮らしのためのサイエンス

<http://byl.bayer.co.jp/> **バイエル薬品株式会社**

**Global** 世界の最先端技術をもとに日本で  
医薬品開発に努め実績を築いていきます。

医療の「A」から「Z」まで。 **AstraZeneca**  
アストラゼネカ

<http://www.astrazeneca.co.jp/> **アストラゼネカ株式会社**

あなたのからだを、気遣う。あなたのこれからを、気遣う。そんな家族の気持ちと  
同じ思いを胸に、私たちは、新薬の研究に取り組み、必要薬を、必要  
になるかもしれない前も、いち早く準備し、安心と共にお届けできること。今も、  
ずっと先も、あなたとあなたの家族を支える力になる。それが私たちの喜びです。

家族の気持ちに、  
新しい薬でこたえたい。

大日本住友製薬

女性のための  
漢方のポータルサイト

漢方に興味のある友達に  
私はこのサイトをすすめています。  
天橋 マキ

漢方を学んでココロとカラダを健康に!

**KampoView**  
[www.kampo-view.com](http://www.kampo-view.com) 漢方ビュー

運営：漢方ビュー事務局 / 協賛：株式会社ツムラ

# ターゲットを拡大 新興国

武田薬品工業はインドへの進出基本計画を策定、急進な成長が見込まれるインドの医薬品市場で、同社のグローバル展開を加速する。中国(蘇州)貿易が今年1月から本格稼働し、ビジネス拡大に拍車がかかる。

アルツハイマー型認知症治療薬「アリセプト」のブランドに続き、11年度は台湾、香港、マレーシア、フィリピン、アルゼンチン、ペネズエラ、メキシコなど11カ国・地域でアリセプト23ミリオを申請する予定。12年度にはブラジル、13年度には中国でも申請する計画だ。

また国内製薬会社では初めて、世界保健機関(WHO)とリンパ系フィリアア症治療薬の無償提供で調

先進国では医薬品の特許切れと相次ぐ医薬品予算抑制策で、先発医薬品の成長が抑制される中、米IMSヘルスは新興17カ国の2011年の成長率を15.17%、市場規模は1700億、1800億になると予測する。こうした市場環境の変化を受けて、国内製薬会社もターゲットを新興国に拡大している。

**日本初、WHOと産官パートナーに**

印 同社はWHO基準の品質を保証したリンパ系フィリア症治療薬「ジエチルカルバマジン1000」を組むのは初めて。

錠」をインド・バイザック工場生産し、12、17年の6年間で約22億錠(約16億円)を無償提供する。グローバルな公衆衛生問題である「熱帯病」の抑制に向けたWHOとの産官パートナーシップを組むのは初めて。

**検査薬メーカーも中国開拓に本腰**

検査薬メーカーも年間20%成長を続ける中国医療市場をターゲットに、市場開拓に本腰を入れる。積水メディカルも、中国で臨床検査事業を強化する。臨床検査事業を従来から営業支援から、輸入・製造・販売にシフトした。積水メディカルは、事業規模の拡大を図る。真空採血管の製造・販売を行っていた北京積水創格医療科技を母体に、臨床検査薬の販売代理店支援を行っていた上海連伊医療商貿を統合した。検査薬事業を製造している工場に、日本から輸入した臨床検査薬の原液を小分け、包装する設備を導入し、中国での生産体制を整える。

大日本住友製薬は中国の生産能力を強める—住友製薬(蘇州)

Dr. Margaret Chan

検査薬メーカーも中国開拓に本腰

検査薬メーカーも年間20%成長を続ける中国医療市場をターゲットに、市場開拓に本腰を入れる。積水メディカルも、中国で臨床検査事業を強化する。臨床検査事業を従来から営業支援から、輸入・製造・販売にシフトした。積水メディカルは、事業規模の拡大を図る。真空採血管の製造・販売を行っていた北京積水創格医療科技を母体に、臨床検査薬の販売代理店支援を行っていた上海連伊医療商貿を統合した。検査薬事業を製造している工場に、日本から輸入した臨床検査薬の原液を小分け、包装する設備を導入し、中国での生産体制を整える。

たとえば、  
ナイチンゲールだったら  
どうするだろう、  
と考える。

彼女の直筆の文字を使ったこのマークを見るたびに、いつも、自分たちに問いかけています。

自ら志願し、クリミア戦争で傷ついた戦士たちの看護に向かったナイチンゲール。怪我や病気で苦しんでいる人たちは、何をしてほしいのか。それが、彼女の行動のすべての出発点だったのだと思います。治療する側の発想だけではなく、

ベッドの上にいる人の視線で医療を見つめること。病氣と闘う人の不安な気持ち、少しでも良くなりたいという切実な思いを、真っ直ぐに見つめること。「ヒューマン・ヘルスケア」。私たちエーザイのスローガンには、そんな思いが込められています。

**ヒューマン・ヘルスケア企業 エーザイ**  
<http://www.eisai.co.jp>

「おっ、第一三共」  
またもや、渡さんを  
驚かせてしまいました。

世界にまん延し続ける感染症に、  
どう向き合っていくのか。  
それは、世界を代表する抗菌剤を開発した  
第一三共にこそ問われる姿勢でもあります。  
薬をつくり、広く普及させるだけではなく。  
たとえば、薬剤耐性菌の出現を抑制し、  
効率的な治療に貢献すること。つまり、  
薬のひとつ先の価値を提示し続けること。

つくっているのは、希望です。  
**第一三共株式会社**

小さな一粒に、大きな責任と情熱を込めて。

**Daiichi-Sankyo**  
[www.daiichisankyo.co.jp](http://www.daiichisankyo.co.jp)